第 19 回英国緩和ケア視察研修 2018
～包括的緩和ケアシステムを学ぶ～

ペニーブローン･キャンサーケア（ブリストル）

ドロシーハウス･デイケア室（バース郊外）

聖クリストファーホスピス（ロンドン）

ドロシーハウス子どもプレイルーム（バース郊外）

ルイシャム大学病院

キングスカレッジ（Dr I Higginson の特別授業）

ナイチンゲール博物館

※写真提供：阿部まゆみ先生

旅 行 期 間：2018 年 3 月 18 日(日)～3 月 26 日(月) 9 日間
訪 問 都 市：イギリス/ブリストル、バース、ロンドン
募 集 人 員：20 名（最少催行人員 16 名）
申 込 締 切：2018 年 1 月 15 日(月)
旅 行 代 金：大人お一人様 499,000 円※ツイン 2 名 1 室、エコノミークラス利用の場合

※3/18、3/19 はペニー･ブローン･ナショナルセンターに宿泊します。
※燃油サーチャージ(目安 15,280 円)、現地空港諸税(概算 17,000 円)国内空港施設使用料(2,090 円)、旅客保安サービス料(520 円)が別途必要になります。(いずれも 2017 年 11 月 1 日現在の額です)

★親子サポートの仲間 “バディ”との再会

お申込窓口：JTB 関東 法人営業熊谷支店
〒360-0037 埼玉県熊谷市筑波 1-207-3 信友ビル 1 階 TEL048-523-5514 FAX048-526-9693
Email:y_jitsukata804@kanto.jtb.jp 担当:實方(じつかた)/矢口/吉田
*お申込金は 80,000 円です。【燃油サーチャージ、空港税諸税は旅行代金残金と一緒にご請求させていただきます】
*お振込先:みずほ銀行 十二号支店 口座名:(株)JTB 関東(ジェイティービーカントウ)普通預金口座 1317378

同 行 解 説：元名古屋大学大学院医学系研究科看護学専攻
特任准教授 **阿部まゆみ** 先生

研修企画：株式会社リバティ・インターナショナル

＜阿部まゆみ先生よりお誘いの言葉＞
英国で先駆的な取り組みを展開している施設、ペニーブローン・キャンサーケアを訪ね、心身を癒すブリストルアプローチを学びます。また、今回ブリストル王立子ども病院を初めて訪問し、小児医療と小児緩和ケアの現状についてお話を伺う予定です。また、バース郊外のドロシーハウスでは、広大な地域をカバーする施設と在宅を結ぶ緩和ケアサービス活動と、家族ケアでは子供サポートについて学びます。ロンドンではキングスカレッジを訪ね、緩和ケア研究の第一人者 Dr Higginson 教授による特別授業を受けます。ルイシャム病院では大学病院における多職種連携による緩和ケアチーム活動、地域との連携を学びます。ホスピス発祥の地、聖クリストファーホスピスではケアの本質と子ども支援のキャンドルプロジェクト、教育･リサーチ等について学びます。（オプションではナイチンゲール博物館、ナショナル･ギャラリー、ミュージカル etc.）

研修プログラムについてのお問い合わせ **リバティ･インターナショナル**（一般社団法人 国際教育）
〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-7-12 九段玉川ビル 5 階（ツアーコード#17-008）
TEL: 03-6261-1935 FAX: 03-6261-1934 Email: info@iiet.co.jp URL:http://www.iiet.co.jp 担当:金子/縄手

第 19 回英国緩和ケア視察研修日程表

日次	月日	都市	時間	交通機関	内容	食事
1	3月18日 (日)	東京(成田) ヘルシンキ ロンドン ブリストル	09:00-10:00 11:30-12:30 15:00-16:00 17:00-18:00 18:00- 19:00	A Y A Y 専用車	成田空港集合、搭乗手続き、出発前ミーティング 成田空港出発、一路ヘルシンキへ ヘルシンキ空港到着、フライト乗継 ヘルシンキ空港出発 ロンドンヒースロー空港到着、入国審査後、ブリストルへ ペニー・ブローン・ナショナルセンター到着、チェックイン ＜ペニー・ブローン・ナショナルセンター泊＞	機○ 機○ 夜○
2	3月19日 (月)	ブリストル	終日	-	**○ペニー・ブローン・キャンサーケア視察** **がんと共に歩む人々への心身を癒す治療的な新しい** **アプローチとして知られる"ブリストル アプローチ"を学びます。** ・歴史と施設概要、ブリストル アプローチのコンセプトについて ・PNLとがん患者との関係及びホリスティックケアについて ・補完療法(ヒーリングセラピー・瞑想・栄養・リンパドレナージ など) ・がんサバイバーのお話、施設内見学 など ＜ペニー・ブローン・ナショナルセンター泊＞	朝○ 昼○ 夜○
3	3月20日 (火)	ブリストル	午前 午後	専用車	朝食後チェックアウト、視察先へ **○ペニー・ブローン・キャンサーケア視察** **○ブリストル王立子ども病院視察** 小児医療と小児緩和ケアの現状について 終了後ブリストル市内のホテルへ移動、ホテルチェックイン ※オプショナル:ミュージカル鑑賞 ＜ブリストル泊＞	朝○ 昼○ 夜×
4	3月21日 (水)	ブリストル バース ロンドン	午前 午後	専用車	朝食後チェックアウト、後視察先へ **○ドロシー・ハウスホスピス視察** ・地方都市郊外のホスピスを訪問し、地域における包括的ケア体制について ・ドロシーハウスの医療チームによるレクチャー、マクミランナースの役割、 リンパ浮腫専門ナース、在宅緩和ケア医 他 ・家族ケア、子どものサポートについて ・施設見学 など 終了後バースへ移動、散策 ロンドンへ移動、ホテルチェックイン ＜ロンドン 泊＞	朝○ 昼× 夜×
5	3月22日 (木)	ロンドン	午前 午後	専用車	**○キングスカレッジ ホスピタル** ・英国で広がる終末期がん患者のためのパス"リバプールパスウェイ" 評価ツールについて **○ルイシャム ホスピタル視察** ・地域病院における包括的緩和ケアの取り組みについて ・専門職によるチーム活動の実際について (医師、マクミランナース、ソーシャルワーカー など) ※オプショナル:ミュージカル鑑賞 ＜ロンドン泊＞	朝○ 昼× 夜×
6	3月23日 (金)	ロンドン	終日	専用車	**○聖クリストファー ホスピス視察** シシリー・ソンダース先生創設のモダンホスピス運動発祥の地を訪ね 各現場に働く方々との交流・レクチャーを通じて、日々の看護実践のために 生かすホスピスケアの核となるものを学ぶ ・ホスピスマインド、スピリチュアケア、子どものグリーフケアなど ・ディケア、緩和ケアリハビリテーション、医師、MSW、スペシャリストナース ・施設見学など ＜ロンドン 泊＞	朝○ 昼○ 夜×
7	3月24日 (土)	ロンドン	午前 午後	公共交通 機関	**ナイチンゲール ミュージアム見学** 自由行動 ＜ロンドン 泊＞	朝○ 昼× 夜×
8	3月25日 (日)	ロンドン ヘルシンキ	午前 10:00-11:00 15:00-16:00 16:30-17:30	専用車 A Y A Y	ホテルチェックアウト後、空港へ向け出発 ロンドンヒースロー空港出発、一路ヘルシンキへ ヘルシンキ空港到着、フライト乗継 ヘルシンキ空港出発 ＜機中 泊＞	朝○ 機○ 機○
9	3月26日 (月)	東京(成田)	08:00-09:00		成田空港到着後、一旦ロビーで集合後、解散	×

★日本発着時利用航空会社: フィンランド航空(AY)エコノミークラス
★宿泊ホテル: ブリストル/ Penny Brohn National Centre (3/18、3/19 シングル 1 名 1 室利用) ★添乗員: 同行しません。(専門領域に優れた通訳者同行)
ブリストル/Hampton by Hilton Bristol City (3/20、ツイン・2 名 1 室利用)、ロンドン/Copthorne Tara Hotel (3/21－3/24、ツイン・2 名 1 室利用)
★食事条件: 朝食 7 回/ 昼食 3 回(視察先にて提供)/ 夕食 2 回(視察先にて提供) ★現地移動: 空港～宿泊施設、宿泊施設～視察先への移動は専用車を利用
※時間帯の目安: 早朝 4:00～6:00/午前 6:00～12:00/午後 12:00～18:00/夜 18:00～23:00
※航空会社や訪問先の都合などにより、スケジュールに変更が生じる場合があります。

〔ツアー申込書〕

個人情報保護の観点から、申込書を FAX する際は番号の押し間違いにご注意頂き、送信後はお手数ですが着信のご確認をお願い致します。
ご旅行条件(要約)の個人情報の取扱について、予め同意の上、申込致します。□←チェックをお願い致します。

送付先: (株)JTB 関東 法人営業熊谷支店　　申込日:　　/　　/

住所: 〒360-0037 埼玉県熊谷市筑波 1-207-3 信友ビル 1 階

Fax: 048-526-9693　Email: y_jitsukata804@kanto.jtb.jp　Tel: 048-523-5514　　担当: 實方(じつかた)／矢口／吉田

フリガナ 名前		性別	男・女	生年月日	昭和 ・ 平成 (西暦　　年) 年　月　日
パスポート名 (ローマ字)	*※手続き書類は記載のローマ字で進めさせていただきます。* 姓　　名			出生地	(都道府県)
パスポート番号	※必ずご記入ください。			発行日	年　月　日
				失効日	年　月　日
フリガナ 自宅住所	(〒　　－　　) 書類送付先希望 ⇒　□ ご自宅　□ お勤め先			電話	ー　ー
				FAX	ー　ー
メールアドレス	@			携帯	ー　ー
フリガナ 勤務先	(〒　　－　　)　□ 現住所と同じ 勤務先名:			職業	
				電話	ー　ー 連絡 □可　□不可
				FAX	ー　ー 連絡 □可　□不可
フリガナ 旅行中の 国内連絡先	(〒　　－　　)　□ 現住所と同じ 氏名:　　続柄:			電話	ー　ー
				FAX	ー　ー
日本国内線希望	□ 無　□ 有 (大阪 ・ 名古屋 ・ 福岡 ・ 札幌 ・ その他[　　]) 希望日時／便名がある方は → 往路[　　] 復路[　　] **※別途手配旅行にて承ります。料金は空港ごとに異なります。**				
国際線 ビジネスクラス 希望	□ 無　□ 有 **※別途承ります。又、ビジネスクラス利用の追加代金が必要です。**				
1 人部屋希望	□ 無　□ 有 (追加代金 47,955 円 ※ブリストル 1 泊、ロンドン 4 泊分) 同室希望者がいる方は→ [　　様]				
成田前泊・後泊 ホテル希望	□ 無　□ 有 (前泊 ・ 後泊) **※別途手配旅行にて承ります。成田空港周辺にて手配いたします。**				
海外旅行保険 加入希望	□ 無　□ 有 **※後日パンフレットおよび申込書を送付します。**				

＜リバティ・インターナショナルより確認事項＞

①今後リバティ・インターナショナルおよび一般社団法人国際教育(旧国際教育研究所)企画の海外研修・セミナーをご案内する際に、申込書記載の情報を利用させていただけますか？

□ 可　□ 不可

②研修時の写真等を当社 HP や次回の研修案内に掲載し、研修風景を紹介させていただけますか？(個人情報の観点から、顔は判別できないよう加工します)

□ 可　□ 不可

③今までに研修に参加したことはありますか？

□ 有(研修名と時期:　　) □ 無

④リバティ・インターナショナル企画の『**第 19 回英国緩和ケア視察研修 2018**』をお知りになったのは？

□ 紹介 (　　様から) ／ □ DM ／ □ 広告 ／ □ HP ／ □ 講演会 ／ □ その他 (　　)

ご旅行条件（要約）

お申し込みの際には、必ず旅行条件書（全文）をお受け取りいただき、事前に内容をご確認の上お申し込みください。

●募集型企画旅行契約

この旅行は（株）ＪＴＢ関東（埼玉県さいたま市中央区新都心 11-2　観光庁長官登録旅行業第 1578 号。以下「当社」という）が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約（以下「旅行契約」という）を締結することになります。また、旅行条件は、下記によるほか、別途お渡しする旅行条件書（全文）、出発前にお渡しする最終日程表と称する確定書面及び当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によります。

●旅行のお申し込み及び契約成立時期

（１）必要事項をお申し出の上、下記のお申込金を添えてお申し込みください。お申込金は、旅行代金お支払いの際差し引かせていただきます。

（２）電話、郵便、ファクシミリその他の通信手段でお申し込みの場合、当社が予約を承諾の旨通知した翌日から起算して３日以内に申込書の提出と申込金の支払をしていただきます。

（３）旅行契約は、当社が契約の締結を承諾し、お申込金を受領したときに成立するものとします。

（４）お申込金（おひとり）80,000 円

●旅行代金のお支払い

旅行代金は旅行出発日の前日からさかのぼって 21 日目にあたる日より前（お申し込みが間際の場合は当社が指定する期日までに）にお支払ください。また、お客様が当社提携カード会社のカード会員である場合、お客様の署名なくして旅行代金、取消料、追加諸費用などをお支払いただくことがあります。この場合のカード利用日は、お客様からお申し出がない限り、お客様の承諾日といたします。

●取消料

旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除されるときは、次の金額を取消料として申し受けます。（お１人様）

＊貸切航空機を利用する旅行、日本出国時及び帰国時に船舶を利用する旅行及び旅行日程中に３泊以上のクルーズ船泊を伴う旅行に関しては、上記の表によらずコースページ内に記載する取消料に拠ります。

契約解除の日	取消料
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって 31 日目にあたる日まで	無料
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって 30 日目にあたる日以降３日目にあたる日まで	旅行代金の 20%
旅行開始日の前々日～当日	旅行代金の 50%
旅行開始後又は無連絡不参加	旅行代金の 100%

●旅行代金に含まれるもの

＊旅行日程に明示した航空座席料金（注釈のないかぎりエコノミークラス）、専用車費用、現地研修プログラム費用(講師謝礼、訪問施設への寄付を含む)

＊旅行日程に明示した宿泊の料金及び税・サービス料金（２人部屋に２人ずつの宿泊を基準とします。）＊旅行日程に明示した食事の料金及び税・サービス料金　＊航空機による手荷物運搬料金これらの費用は、お客様の都合により一部利用されなくても原則として払い戻しいたしません。

●旅行代金に含まれないもの

前項のほかは旅行代金に含まれません。その一部を例示いたします。

＊超過手荷物料金＊ポータレッジ＊クリーニング代、電話電報料、ホテルのボーイ・メイド等に対する心付け、その他追加飲食等個人的性質の諸費用及びそれに伴う税・サービス料金＊渡航手続関係費用＊オプショナルツアー料金＊運送機関が課す付加運賃・料金（例：燃油サーチャージ）＊日本国内の空港施設使用料＊日本国内におけるご自宅から発着空港等集合・解散時点までの交通費・宿泊費＊旅行日程中の海外空港諸税。＊旅客保安サービス料等

●特別補償

当社は、当社又は当社が手配を代行させた者の故意又は過失の有無にかかわらず、募集型企画旅行約款別紙特別補償規程に基づき、お客様が募集型企画旅行参加中に急激かつ偶然な外来の事故により、その身体、生命又は手荷物上に被った一定の損害について、以下の金額の範囲において、補償金又は見舞金を支払います。

死亡補償金：２５００万円、入院見舞金：４～４０万円、通院見舞金：２～１０万円、携行品損害補償金：お客様１名につき～１５万円（但し、補償対象品１個あたり１０万円を限度とします。）

●「通信契約」を希望されるお客様との旅行条件

当社提携クレジットカード会社のカード会員（以下「会員」といいます。）より「会員の署名なくして旅行代金や取消料等の支払いを受ける」こと（以下「通信契約」といいます。）を条件にお申込みを受けた場合、通常の旅行条件とは以下の点で異なります。（受託旅行業者により当該取扱ができない場合があります。また取扱できるカードの種類も受託旅行業者により異なります。）

（１）契約成立は、当社が電話又は郵便で旅行契約の締結の承諾通知を発信したとき（ｅ－mail 等電子承諾通知を利用する場合は、その通知がお客様に到達したとき）とします。また申込時には「会員番号・カード有効期限」等を通知して頂きます。

（２）「カード利用日」とは旅行代金等の支払い又は払戻し債務を履行すべき日をいいます。旅行代金のカード利用日は「契約成立日」とします。また取消料のカードの利用日は「契約解除依頼日」とします。(但し、契約解除依頼日が旅行代金のカード利用日以降であった場合は、当社は旅行代金から取消料を差し引いた額を解除依頼日の翌日から起算して７日間以内をカード利用日として払い戻します。

（３）与信等の理由により会員のお申し出のクレジットカードでのお支払いができない場合、当社は通信契約を解除し、規定の取消料と同額の違約料を申し受けます。ただし、当社が別途指定する期日までに現金による旅行代金のお支払いをいただいた場合はこの限りではありません。

●旅券・査証について

（日本国籍以外の方は、自国の領事館、渡航先国の領事館、入国管理事務所にお問合せください。）

（１）旅券（パスポート）：帰国時まで有効な旅券が必要です。また、出国用航空券が必要です。

（２）査証（ビザ）：この（パンフレット記載の）旅行には、査証は不要です。

●保健衛生について

渡航先の衛生状況については、厚生労働省「検疫感染症情報」ホームページ：http://www.forth.go.jp/でご確認ください。

●海外危険情報について

渡航先（国又は地域）によっては、外務省「海外危険情報」等、国・地域の渡航に関する情報が出されている場合があります。お申し込みの際に販売店より「海外危険情報に関する書面」をお渡しいたします。また、「外務省海外安全ページ：http://www.pubanzen.mofa.go.jp/」でもご確認ください。

また、旅行日程・滞在先・連絡先などを登録すると、滞在先の最新の危険情報や緊急時の連絡メール等を受け取れる外務省のシステム「たびレジ:https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/」へのご登録をお勧めします。

●海外旅行保険への加入について

海外において、病気・けがをした場合、多額の治療費、移送費等がかかることがあります。また、事故の場合、加害者への損害賠償請求や賠償金の回収が大変困難であるのが実情です。これらの治療費、移送費、また、死亡・後遺障害等を担保するため、お客様自身で充分な額の海外旅行保険に加入することをお勧めします。海外旅行保険については、販売店の係員にお問合せください。

●空港諸税について

渡航先の国又は地域によっては、その国の法律などにより渡航者個人に対して空港税等（出入国税、空港施設使用料、税関審査料等）などの支払が義務付けられています。表示されている旅行代金には、空港税等は含まれておりませんので、別途お支払いが必要です。(当社が日本円で収受する場合は、ご出発の３５日前に、水～土曜日発は５週間前の月曜日午前中の終値、日～火曜日発は６週間前の月曜日午前中の終値（いずれも三菱東京 UFJ 銀行売渡レート）により換算し、確定いたします。)

●事故等のお申出について

旅行中に、航空機、及びホテルに関わる事故などが生じた場合は、最終日程表でお知らせする連絡先にご通知ください。(もし、通知できない事情がある場合は、その事情がなくなり次第ご通知ください。)

●個人情報の取扱について

（１）当社及び販売店は、旅行申込の際に提出された申込書等に記載された個人情報について、お客様との間の連絡のために利用させていただくほか、お客様がお申し込みいただいた旅行サービスの手配及びそれらのサービスの受領のための手続に必要な範囲内、当社の旅行契約上の責任、事故時の費用等を担保する保険の手続き上必要な範囲内でお申込みいただいたパンフレット及び最終旅程表に記載された運送・宿泊機関等及び保険会社に対し、お申込み時にいただいた個人情報及び搭乗される航空便名に係る個人データを、予め電磁的方法等で送付することにより提供いたします。また、当社は個人情報をリバティ・インターナショナル社へ提供し、リバティ・インターナショナル社は、今後の研修及びセミナー案内送付の際に利用させていただきます。

（２）当社及び販売店は、旅行中に疾病・事故等があった場合に備え、お客様の旅行中の連絡先の方の個人情報をお伺いしています。この個人情報は、お客様に疾病等があった場合で連絡先の方へ連絡の必要があると当社が認めた場合に使用させていただきます。お客様は、連絡先の方の個人情報を当社及び販売店に提供することについて連絡先の方の同意を得るものとします。

●旅行条件・旅行代金の基準

この旅行条件は 2017 年 11 月 7 日を基準としています。又、旅行代金は 2017 年 11 月 1 日現在の有効な運賃・規則を基準として算出しています。

旅行企画・実施

株式会社 JTB 関東

観光庁長官登録旅行業第 1578 号

埼玉県さいたま市中央区新都心 11-2

一般社団法人日本旅行業協会正会員

旅行業公正取引協議会会員

総合旅行業務取扱管理者とはお客様の旅行を取り扱う営業所での取引の責任者です。この旅行の契約に関し、担当者からの説明にご不明な点がありましたら、ご遠慮なく記載の旅行業務取扱管理者までご質問ください。

お申し込み・お問い合わせ先

JTB 関東　法人営業熊谷支店

(住所)〒360-0037

埼玉県熊谷市筑波 1-207-3 信友ビル 1 階

TEL: 048-523-5514

FAX: 048-526-9693

担当: 實方(じつかた)、矢口、吉田

営業時間：月～金／09：30～17：30

(土・日・祝日休業)

総合旅行業務取扱管理者: 實方 喜悟

≪　参加のお勧め　≫

春の訪れを前にゆき交う人々の活気に満ち溢れる英国を訪ね、真の『ホスピタリティー』に触れる旅へご案内致します。
ホスピスケアの原点に光をあて、がんとともに生きる患者さんの生を支えるケア、地域包括ケアシステムについて学んで頂きます。英国でスペシャリストとして働く医療スタッフとの出会いを肌で感じ、体験する中で、ホスピスマインドについて理解し、あなた自身のケアのあり方について考えるチャンスとして第一歩を踏み出しませんか。
本研修は今回で 19 回目を迎えます。毎回大変ご好評いただいています。

元名古屋大学大学院　医学系研究科看護学専攻
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン　特任准教授
阿部　まゆみ

阿部まゆみ先生　プロフィール

国立病院医療センター（現国立国際医療センター）に看護師として 15 年間勤務した後、1989 年 4 月渡英。語学学校へ通いながら、ロンドンの公立病院で看護ボランティアをはじめる。そこで CNS(Clinical Nurse Specialist)の存在を知り、CNS との交流の中で看護の原点に「ホスピスマインド」が深く関わっていることを認識する。これがきっかけとなり、英国の看護師免許取得にチャレンジ。免許取得のための勉強と並行し地域家庭医(GP)診療所や在宅看護、幼稚園にて勤務するなど幅広い経験を積む。

免許取得後、1994 年～1998年ロンドンにあるサウスバンク大学保健学科の緩和ケアコースを専攻し、Professor Irene Higginson より Support Team Assessment Schedule (STAS)緩和ケア評価ツールについて学ぶ。そして、1995 年～1998 年モダンホスピスムーブメントの創始者シシリー・ソンダース先生が設立された聖クリストファーホスピスで勤務し、一人一人の尊厳を守り、死の瞬間まで人間らしく生きることを可能にするホスピス緩和ケアの原点に触れ研鑽を積む。

1999 年 4 月～2003 年 5 月社団法人日本看護協会看護教育・研究センター看護研修学校ホスピスケア（現緩和ケア）学科にて教鞭をとり、日本のホスピスと緩和ケアを発展させるべく多岐にわたり活動。2003 年 6 月～2004 年 3 月財団法人日本訪問看護振興財団にて、在宅医療における訪問看護サービスの充実と質の向上、普及に携わる。

2004 年 4 月より緩和ケアを地域に普及させる為、都道府県として初めて開設された広島県緩和ケア支援センター緩和ケア支援室で 3 年間勤務し、地域緩和ケアネットワークづくりの推進と緩和ケアサービスの一環である「デイホスピス」に関わり、新たなアプローチとして注目される。2007 年より名古屋大学大学院でがん看護専門看護師教育課程に関わりながら、医系キャンパス型緩和デイケアの試行と「親子の絆をつなぐサポートブック」の作成と普及に努め親子サポートに関わる。